

キーワード	地域密着型サービスの推進や活用、小規模多機能型居宅介護、地域交流拠点、社会福祉法人
-------	---

地域への積極的な働きかけが地域の交流拠点へ

新潟県 長岡市

【この事例の特徴】

小規模多機能型居宅介護、地域密着型介護老人福祉施設、認知症対応型共同生活介護、高齢者在宅支援住宅の機能を併せ持つ、地域に開かれた拠点として開設した。開設当初は地域の理解を得るのが難しかったが、町内会の神輿の休憩所として利用してもらったことを契機に地域と接点ができる。現在は地域住民が立ち寄りやすい雰囲気づくりのためにカフェを展開している。

地域概要

総人口:	281,411 人
65 歳以上人口:	74,192 人(26.4%)
75 歳以上人口:	40,501 人(14.4%)
要介護要支援認定者数:	13,343 人(18.0%)
地域生活支援センター数:	11カ所
第5期介護保険料:	5,792 円



背景・経緯

【背景】

- 平成 22 年度に、従来の福祉施設とは違う選択肢を提示することをコンセプトに、(社福)長岡福祉協会が中心となってサポートセンター授田屋を開設した。
- 小規模多機能型居宅介護、地域密着型介護老人福祉施設、認知症対応型共同生活介護、高齢者在宅支援住宅の機能を併せ持っている。

【経過】

- 地元町内会に地域に開かれた施設の考え方を理解してもらうのに苦労したが、ある時、町内の祭りの神輿の休憩場所が欲しいという話を聞き、施設を休憩場所として提供したことが、契機となった。
- 子どもから大人までの祭り参加者から施設に入って見てもらえたとし、利用者も町内の祭りの楽しさを味わうことができた。
- **予算等**: 地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金(ハード交付金) 6,296 千円
地域介護・福祉空間整備推進交付金(ソフト交付金) 3,000 千円

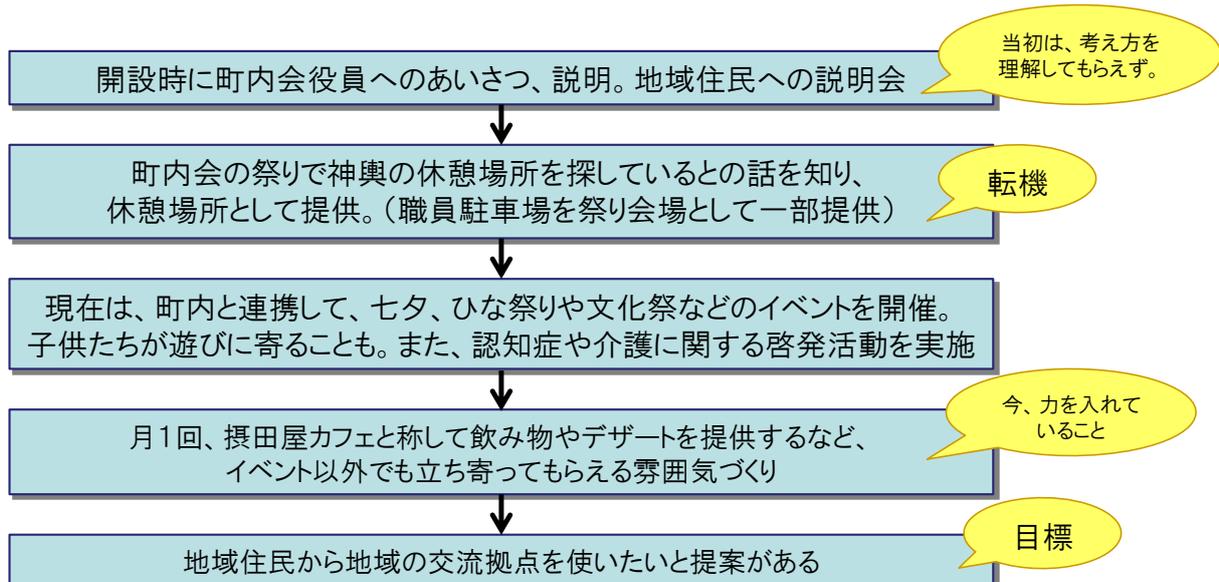
取り組み内容と方法

【概要】

- 小規模多機能型居宅介護事業所に地域の交流拠点設備を併設し、地元町内会と施設が連携して様々な行事を開催することで信頼関係を築いている。

- 介護サービスを今後利用する団塊の世代から実際に見てもらえるよう、地域交流室、カフェテリア、キッズルーム、バーカウンターを整備し、質の高い行事を開催するなど、工夫した運営を行っている。
- 施設のイベント(七夕、ひな祭りや文化祭、料理教室)などを積極的に地域や学校に広報して、住民が参加できる機会をつくっている。そして、地域住民がお茶飲みに来館したり、子ども達が遊びに来るなどの交流が生まれている。
- 長岡市としては特に関与していないが、運営推進会議を通じて助言を行っている。

【地域との接点づくりの工夫】



取り組みの成果と課題

【成果】

- 現在は、年間 2,000 人の利用があり、町内会の役員会を交流拠点で開いたり、子どもたちが自然と遊びに寄ってくれるようになった。

【課題】

- 月1回の摂田屋カフェの取り組み(飲み物やデザートの提供)、介護全般についての情報発信や相談等を行い、地元住民側から積極的に施設を利用したいという提案をしてもらえるような関係づくりに取り組んでいく。

参考 URL、連絡先

- 長岡市 介護保険課 介護事業推進係
0258-39-2245